

屋根 - 外壁用 S X (A X) 1 2

下地仕上げ（パラペット仕上げには、次の点に注意してください。）

- 1 . E X P . J 取付部のパラペット高さは、カバーのかぶりしろの関係から図 1 のように 1 0 0 mm 以上確保してください。
- 2 . 建物のクリアランスは、変位量にあわせて仕上げてください。それぞれの規定値よりも狭い場合には変形性能が確保できなくなる場合があります。

取付準備

製品は使用場所別に手配書の部番に合わせて梱包出荷されます。取付前に部品ユニットがすべて揃っていることを確認してください。

取付は次の順序で行ってください。

1 . レベル墨打ち

外壁フレームユニットを取付するためのレベル墨を打ちます。レベル墨の位置（A，B 寸法）は、図 2 及び表 1 を参照して下さい。

注）別製カバー幅の場合は、施工図に基づいてレベル墨を打って下さい。

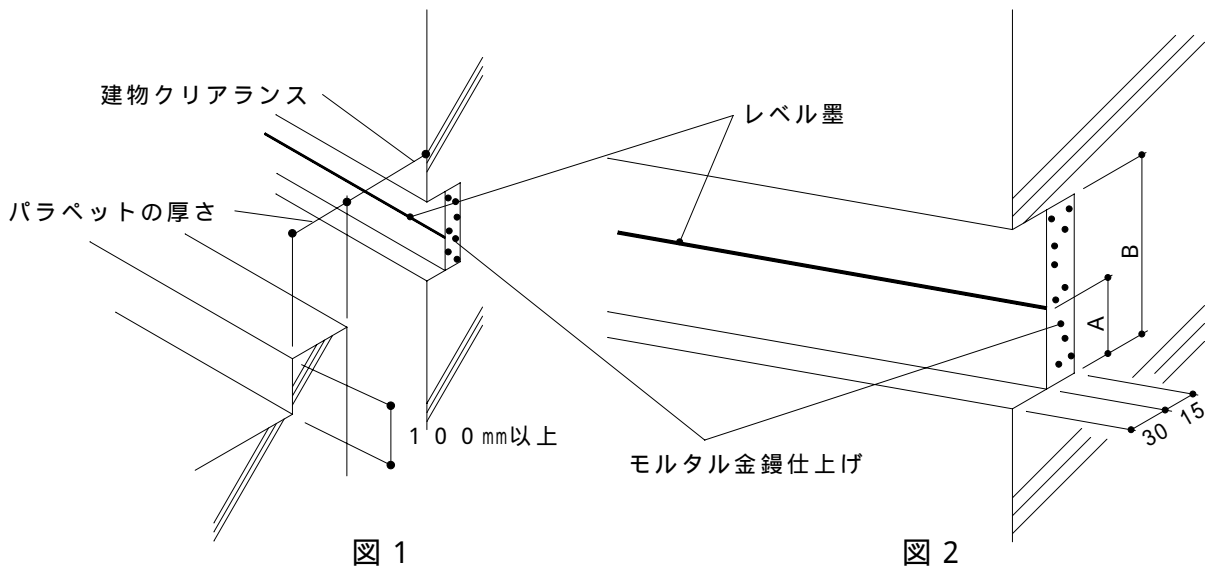


表 1 . A , B 寸法表

呼 称	A 寸法				B 寸法				
	パラペッ ト厚	1 2 0	1 5 0	1 8 0	2 0 0	1 2 0	1 5 0	1 8 0	2 0 0
SX12 - 50F		25	27	28	29	81	83	84	85
SX12 - 100F		30	32	33	35	86	88	89	91
SX(A X)12 - 50G		24	25	27	28	80	81	83	84
- 100G		28	29	31	32	84	85	87	88
- 150G		32	33	35	36	88	89	91	92
- 200G		36	37	39	40	92	93	95	96
- 300G		38	40	41	42	94	95	97	98

2. 壁側フレームユニットの取付

壁側フレームユニットにあけられた穴をレベル墨に合わせ 6、深さ40mmの下穴をあけます。付属のフィッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジで壁側フレームユニットを固定します。取付下地の不揃いはレベルアジャストピース(付属品)を利用して調節します。図3, 4を参照してください。

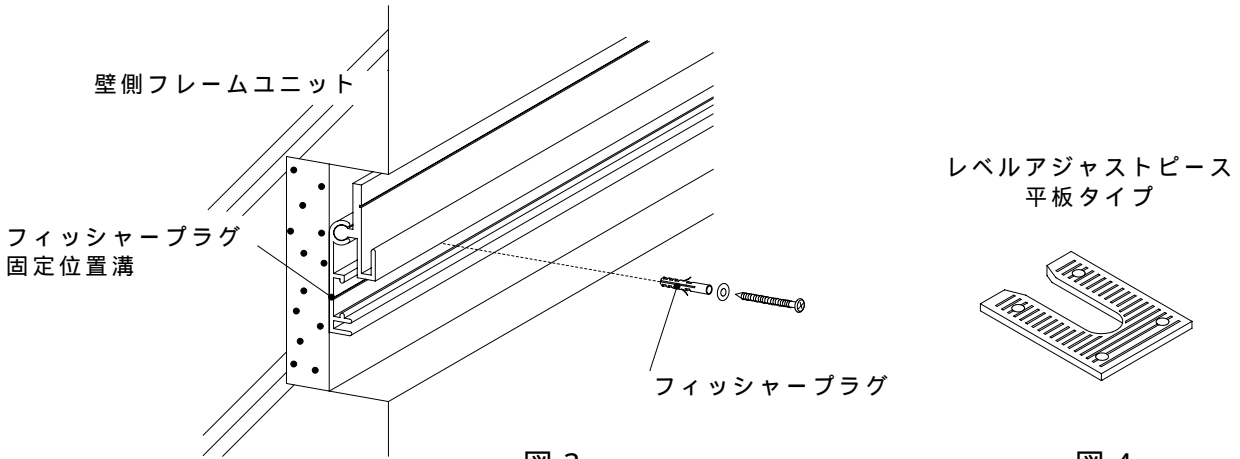


図3

図4

注) 壁側フレームユニットのジョイントは、図5のように接続金具を差し込んでネジを締め付けて固定してください。

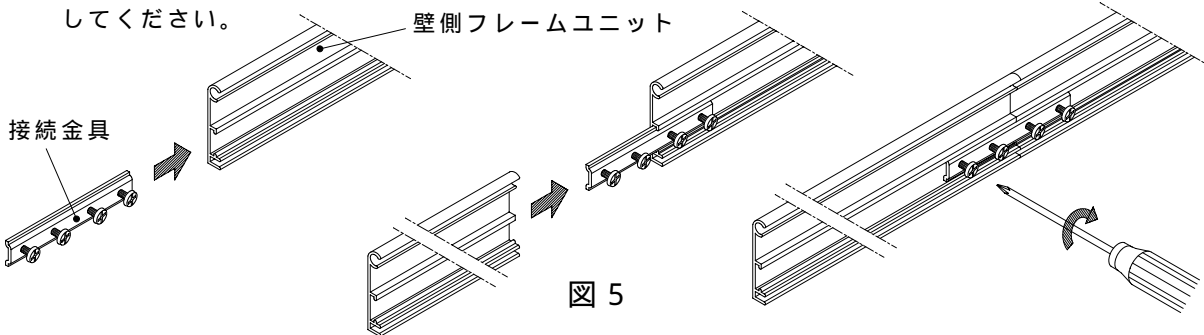


図5

3. 補助シート受けフレームの取付

パラペット、クリアランスによって図6のように内側から30mmの位置に補助シート受けフレームを取付ます。取付に先立ちフレームの穴位置に従って躯体に、6、深さ40mmの下穴をあけます。次に付属のフィッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジで止めます。

(固定ネジは、事前に平ワッシャをセットしておきます。)

注) 規格品は、パラペット厚が120mmを除く全機種に補助シート受けフレームは取付けられます。

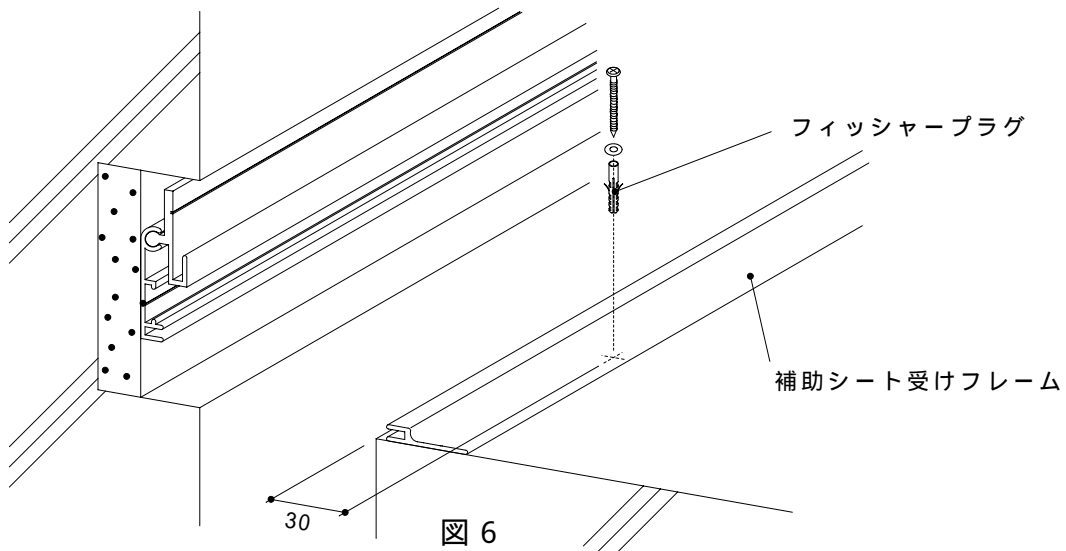


図6

4. パラペット用フレームの取付

パラペット用フレームの穴位置に従って躯体に、φ8、深さ60mmの下穴をパラペットの外側から65mmの位置にあけます。次に付属のフィッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジで止めます。（固定ネジは、事前に平ワッシャをセットしておきます。）この時フレームの長手方向の端部はパラペット端部に合わせます。（図7、8）また、補助シートの取付位置については、3で述べた補助シート受けフレームに取付るタイプを図8にその他の直接パラペットフレームに取付るタイプは図7にそれぞれ示します。補助シートの長さについては、図7、8に示すように60mm程度垂れ下がるようにして下さい。この部分は、外壁用補助シートと接着することになります。（接着剤は、別途です。）フレームには、止水テープ（ブチルゴム付きアルミテープ）を図7、8のように張りつけて下さい。

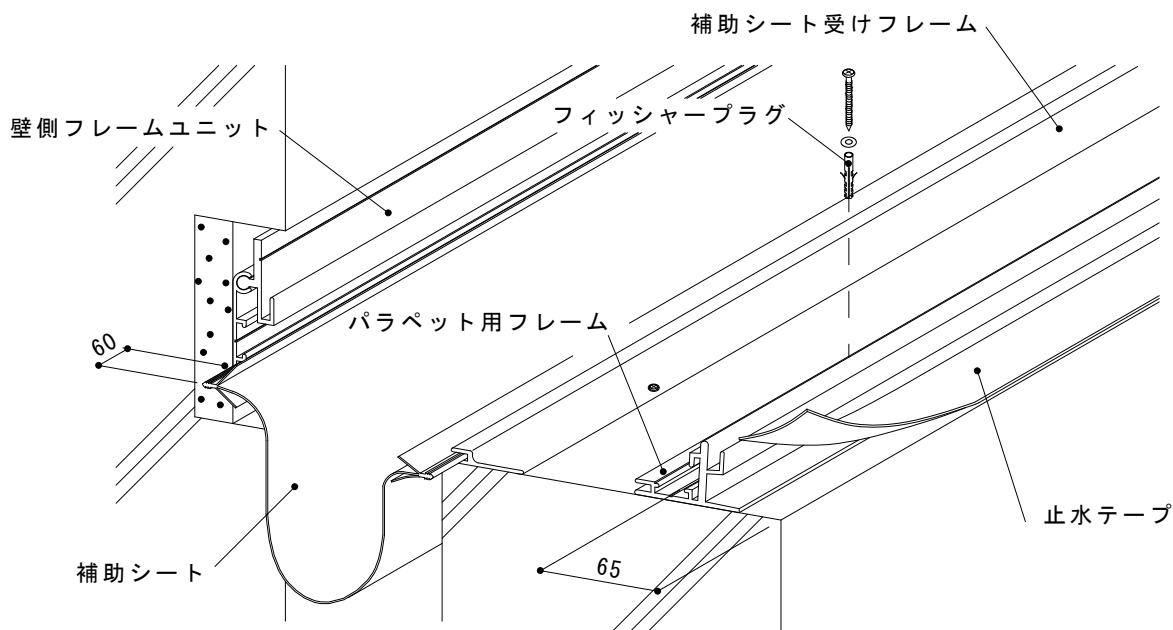


図 7

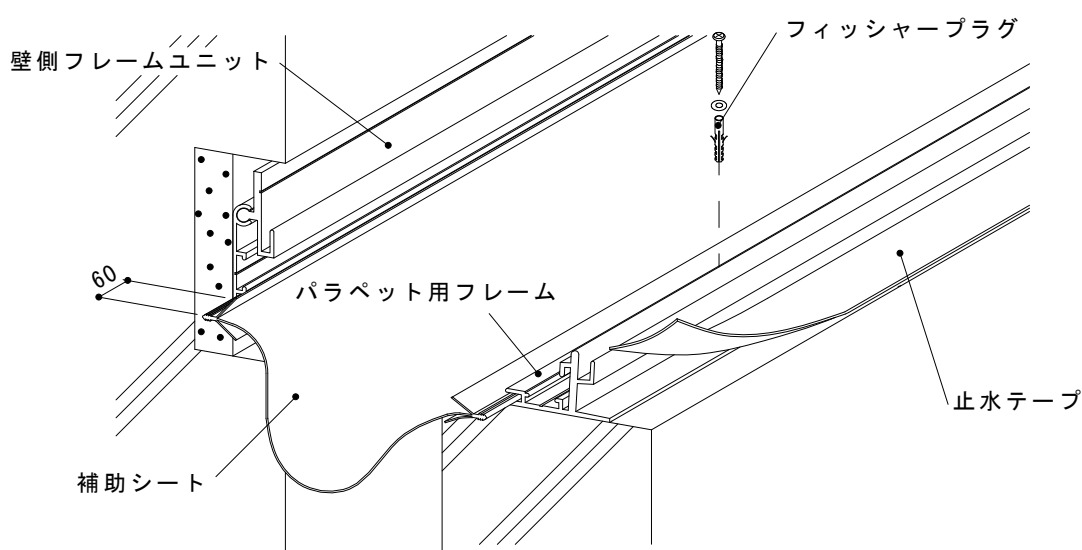


図 8

注1) フレームユニットの固定用穴は、必ず全て固定してください。

注2) フレームユニットのレベル出しには、付属のレベルアジャストピース（図4）を御利用下さい。調整範囲は10mm程度です。ピースを5枚以上使用すると10mm以上の調整が可能です。5.0×50の固定ネジでは所定の固定力が確保できないため50mm以上のネジを使用してください。

5. ホルダーユニット及び止水板の取付

パラペット用フレームに対して止水板とホルダーユニットを取付ます。フレームの端部に合わせて止水板を取付、次にホルダーユニットを取付ます。止水板は、ホルダーピッチ決めにもなっていますので交互に図9のように取付けていきます。ホルダーの取付方については、図10に示します。ホルダー取付金具を下に押しパラペット用フレームの溝部に引っかかるようにして取付けて下さい。

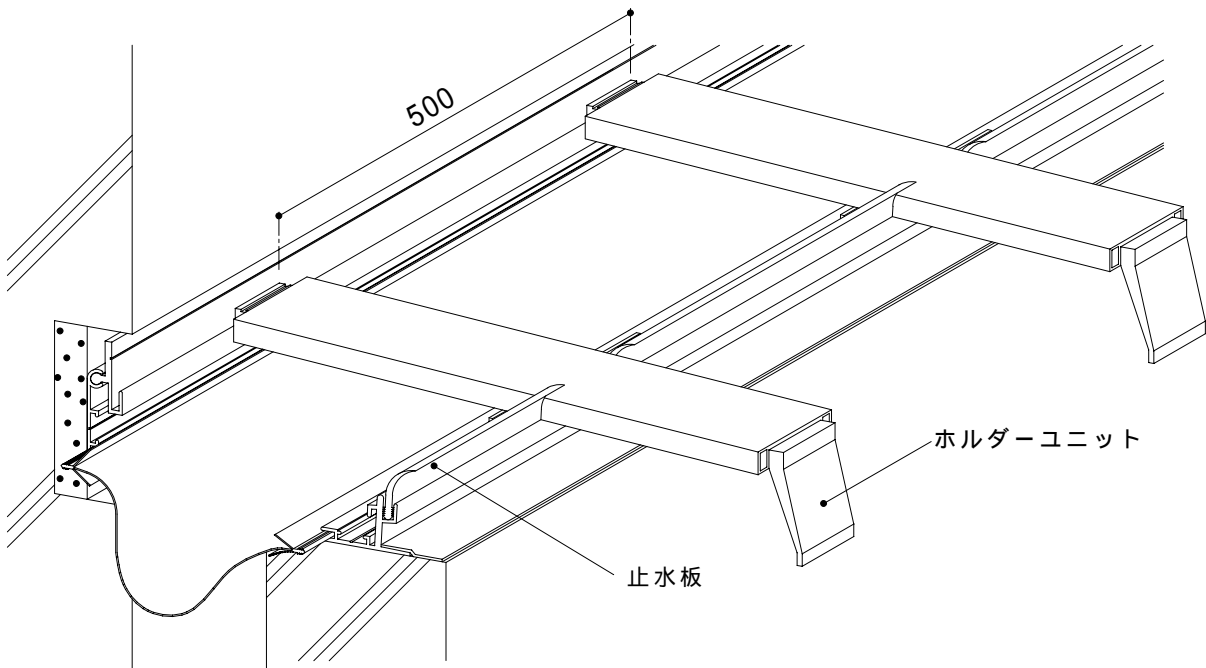


図9

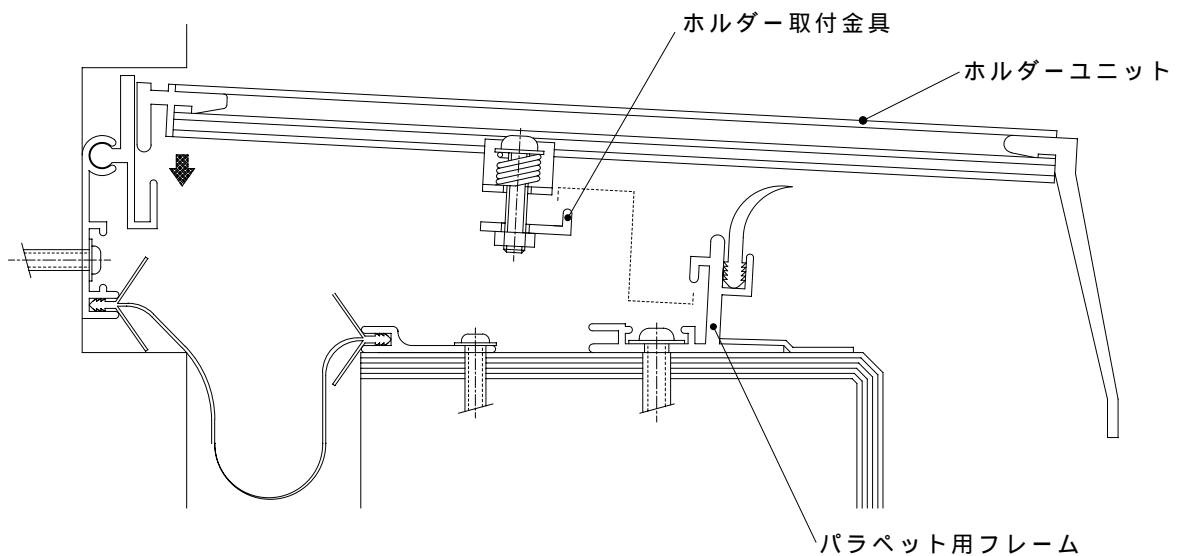


図10

6. カバーの取付

カバーの取付は、図11に示すように先程取付たホルダーと図中Aのように納まるようにして壁側フレームユニットに固定してください。（両端の小口カバーの付いたものから取付て下さい。）

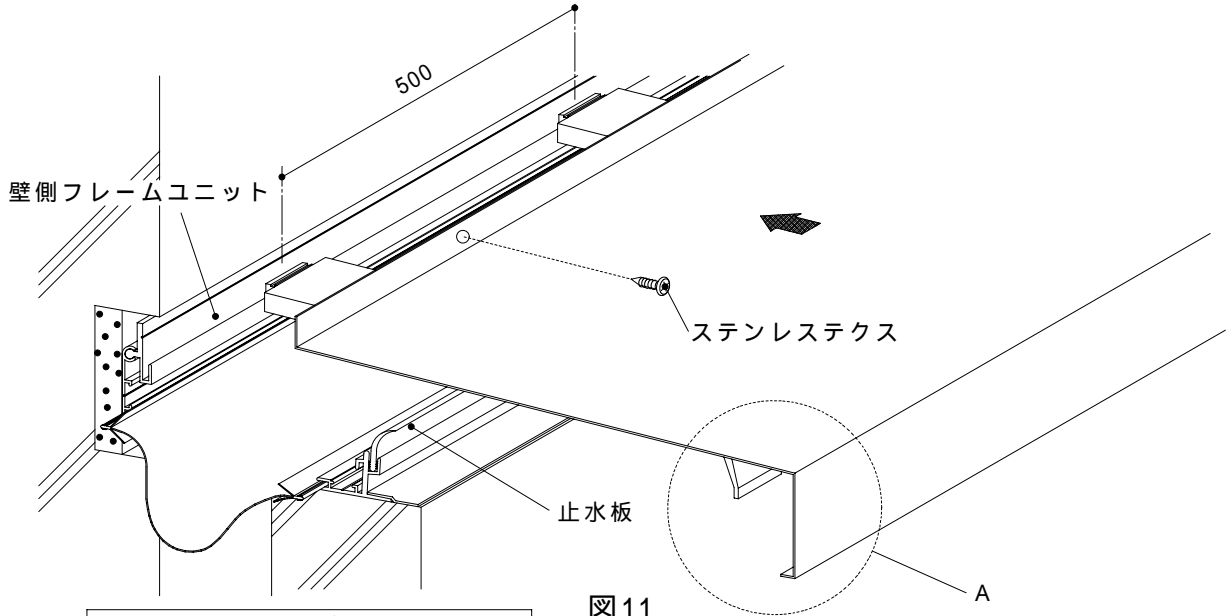
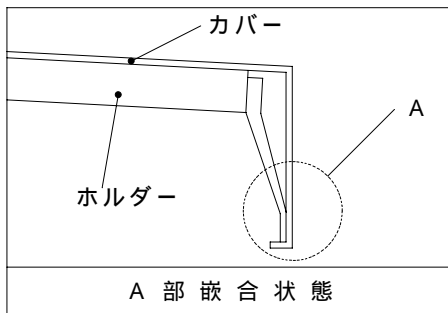


図11



ホルダー上をスライドさせながら壁側フレームユニットに付き当てるようにしてカバーをあて、タッピンネジで固定して下さい。この時、図中A部のホルダーとカバーの嵌合状態を確認して下さい。

7. カバーのネジ止め

カバー寸法W = 595 mm以上の場合は、図12のようにカバーの取付穴位置に合わせてホルダーユニットに 3.6 の下穴をあけ、カバーにタッピンネジ (SX) ・テクスビス (AX) で固定します。

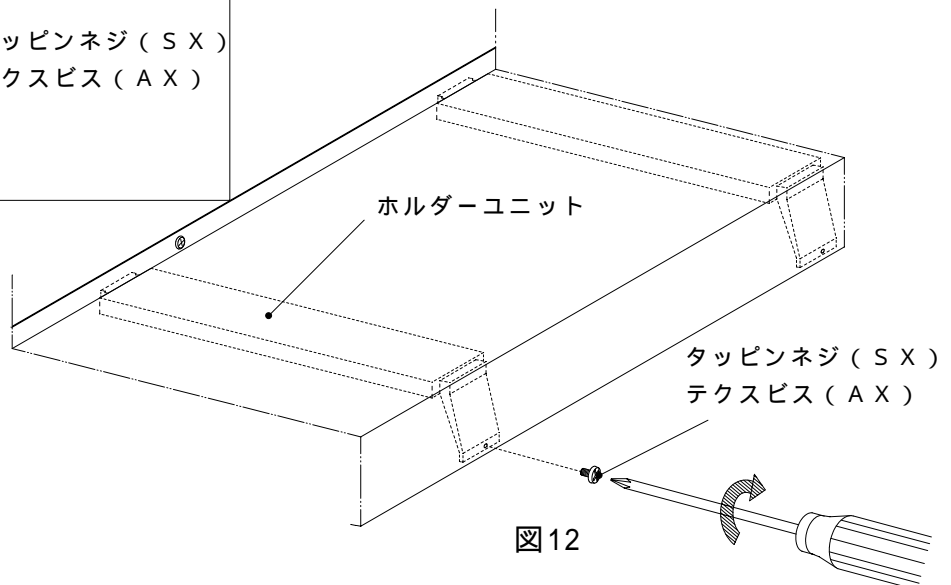
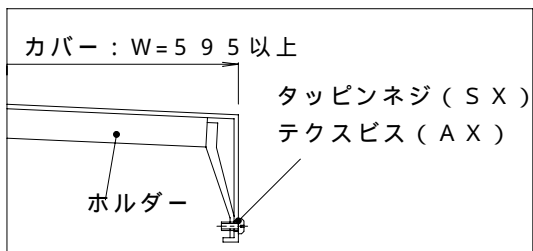


図12

カバー接続部の取付は、次のように行います。

カバー接続部は、コーキング不要のジョイナーを取付ます。(図13) 取付方については、壁側フレームユニットの嵌込み溝にジョイナーの腕(フラット-)を引っ掛けるようにし止水板にのせる状態で設置して下さい。ジョイナーのセットを行ってからカバーの固定を行うことに注意して下さい。

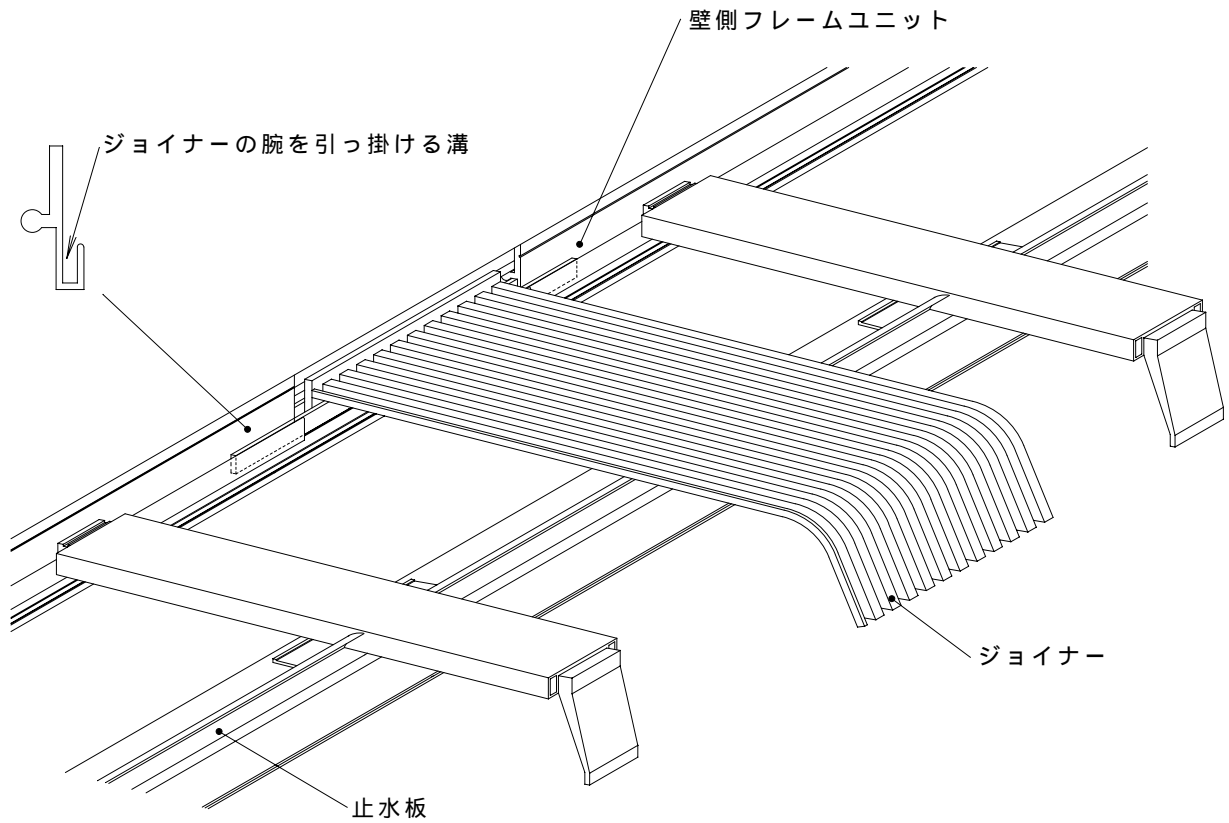


図13

7. コーキング

壁面とカバーの隙間にコーキングを行います。(図14)

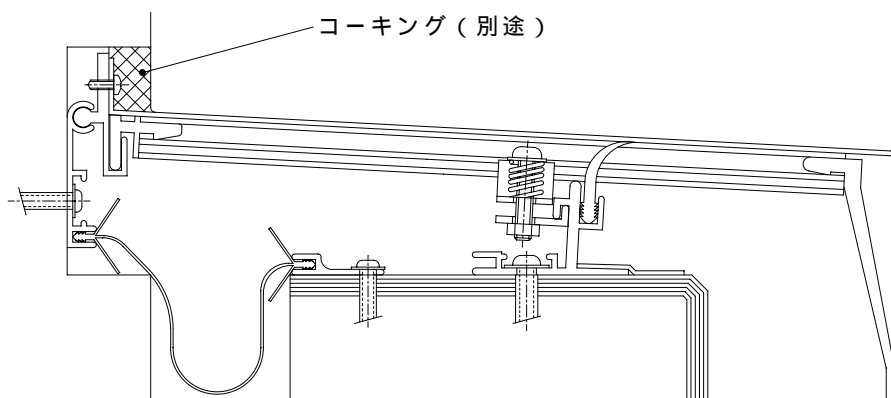


図14